

「絆を大切にした PTA活動を」

加治木養護学校 PTA会長 しんち 新地 やすし 泰志

本校は、創立36周年を

迎える特別支援学校です。小学部から高等部まで60人の児童生徒が、先生方と共に精一杯勉強や運動に取り組んでいます。教育活動を推進する際には、保護者、隣接する国立病院機構南九州病院と連携を密に取っています。

PTA活動は、文化部、保健体育部、研修部、厚生部の四つの専門部で構成され、年間を通して様々な活動に取り組んでいます。

また本校には、「保護者会」もあり、特色ある活動を行っています。

その活動の中に「新成

人を祝う会」があります。

この会は、20歳になる卒業生とご家族の方々を本校に招待し一緒に成人のお祝いをします。20歳まで病氣と向き合いながら精一杯生き抜いてこられた話をお聞きます。

一緒に会話を交わし、音楽を楽しんだりしながら卒業生と在校生とが触れ合い、交流を深めています。話の中では、本校在校中で楽しかったことや頑張ったこと、また今の思いや願うことがあり、在校生は元気をもらい、私たち保護者も頑張ろうという気持ちになります。

当日は、先生方もたくさん集まり、会が終わる頃には、参加者全員が一体となり感動的なものになります。今後も継続していきたいものです。

また、本年度新たな取組として、「タイムカプ

セル」の企画を始めました。

この取組は、高等部を卒業して数年後に再び集い、タイムカプセルを開け、互いの思い出の交流を深める場を提供することで、絆づくりをしています。

今後、何回か話し合いを進めながら、期日、場

所、参加者、進め方など決めていきたいと考えているところです。

本校のPTA会員の数は多くはありませんが、今後とも会員一人一人の思い、考え等を踏まえながら、在学時また卒業時に渡ってお互いの絆を、更に深めていきたいと願

っています。